

令和7年産米の品質向上に向けて「良質米づくり研修会」を開催

県と関係団体で組織する「宮城県米づくり推進本部」では、令和6年産米の作柄の要因を確認し、令和7年産米の高品質・安定生産に向けた技術対策等の取組の徹底を図るため、生産者や関係機関の皆様を対象に、研修会を開催します。

研修会では、「高温に強い米づくり」をテーマに、新潟県農林水産部経営普及課による「新潟県における高温対策の取組み」について講演いただくとともに、仙台管区气象台による「令和6年の気象と今後の予報について」、古川農業試験場による「令和6年産米の作柄について」、全農宮城県本部による県産米の販売情勢の紹介を行うほか、水稻の高温対策技術についてのパネルディスカッションを行います。

また、令和6年度宮城県農林産物物品評会（うるち玄米部門）で優秀な成績を収められました生産者様の表彰式を行いますので、報道機関の皆様におかれましては、ぜひ取材してくださるようお願いいたします。

記

- 1 研修会名称 令和6年度第2回良質米づくり研修会
- 2 日 時 令和7年3月6日（木曜日）午後1時15分から午後4時まで
- 3 場 所 大崎生涯学習センター（パレットおおさき）多目的ホール
所在地 大崎市古川穂波三丁目4-20
- 4 主 催 宮城県米づくり推進本部
- 5 内 容
午後1時15分～午後1時30分 宮城県農林産物物品評会（うるち玄米部門）表彰式
午後1時30分～午後3時10分 技術研修（座学）
令和6年の気象と今後の予報について
令和6年産水稻の作柄等について
新潟県における高温対策の取組みについて
米穀情勢について 他
午後3時25分～午後3時55分 パネルディスカッション・総合質疑
座長：みやぎ米推進課
パネラー：新潟県農林水産部経営普及課、古川農業試験場、
農業改良普及センター
- 6 参加者 水稻生産者、農業協同組合、市町村、県内農業関係機関、県関係機関 約150名